

教育指導課便り

平成22年8月19日発行
第5号
函館市教育委員会学校教育部教育指導課発行

いよいよ2学期がスタートしました。夏季休業中は、大きな事故等もなく、終えることができました。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

小学校外国語活動サポーター派遣事業

平成21年度に引き続き、小学校外国語活動サポーターを市内45の小学校に派遣しています。教育指導課では、6月末から7月上旬にかけて、サポーターの活動視察を行いました。



各学校から寄せられたサポーター制度の成果

- ・サポーターが授業に参加することで、子どもたちが意欲的に外国語活動に取り組んでいる。
- ・外国語の発音やイントネーション、文化の違いなどを子どもたちに伝えてくれる。
- ・担任とは違った目で子どもたちを評価してくれる。
- ・サポーターとの打ち合わせ自体が、教員にとって外国語活動の良い研修となっている。

なお、学校・サポーターの双方から、課題として最も多くあがっていたのは、「打ち合わせの時間の確保」や「打ち合わせ方法の工夫」でした。また、今後のサポーター派遣制度の継続を要望する声も聞かれました。今後、各小学校の外国語活動の取組の状況について、アンケートを実施し、今回の視察の状況と併せ、8月27日開催の「小学校外国語活動研究協議会」にて教育指導課より報告する予定です。

学校図書館担当者研究協議会

7月2日、南北海道教育センターにて第1回学校図書館担当者研究協議会を開催しました。全体会では、函館市における学校図書館の現状、読書活動の実施状況などについて説明させていただいた後、部会に分かれて各学校の現状と課題、今年度の取組について交流を行いました。課題別部会では、読書感想文の書き方や読書へのアニメーション、ブックトーク、学校図書館の効果的な運営、授業での活用の5部会で実践的に研修を深めることができました。各種行事や中体連準備など、お忙しい時期に参加いただいた先生方、講師の皆様、ありがとうございました。



特別支援教育支援員 各学校で活躍しています！

今年度、市内小・中学校に50名の支援員が配置されました。5月に行われた第1回研修会では、中の沢小学校、桔梗中学校での授業参観、協議・演習と、支援員の方々の熱心な取組が印象的でした。1学期、支援員の活動に対して、多くの学校から感謝の声が寄せられました。